



釣具

製造

SUBJECT

現状設備での保管量は限界に
将来を見据えた保管スペース確保と
出庫スピードの向上を実現したい

RESULTS

入出庫能力の向上により
24時間→8時間稼働に



作業効率

3倍

従来設備では常時1万アイテムを取り扱う中で出庫スピードが追い付かず、繁忙期は24時間体制で対応。オートストアを導入することで出庫スピードは従来と比べて3倍の速さとなり、稼働後は日中8時間稼働で運用しています。

従来のクレーン式
自動倉庫保管と比較して



保管効率

2倍

年々増加するアイテムを保管するため外部倉庫を借りるなど非効率な運用となっていました。新センターでは、以前の自動倉庫と比べて2倍の保管量を確保でき、将来的な在庫量の増加を見据えた対応となっています。



株式会社 ハヤブサ

本社屋兼物流センター

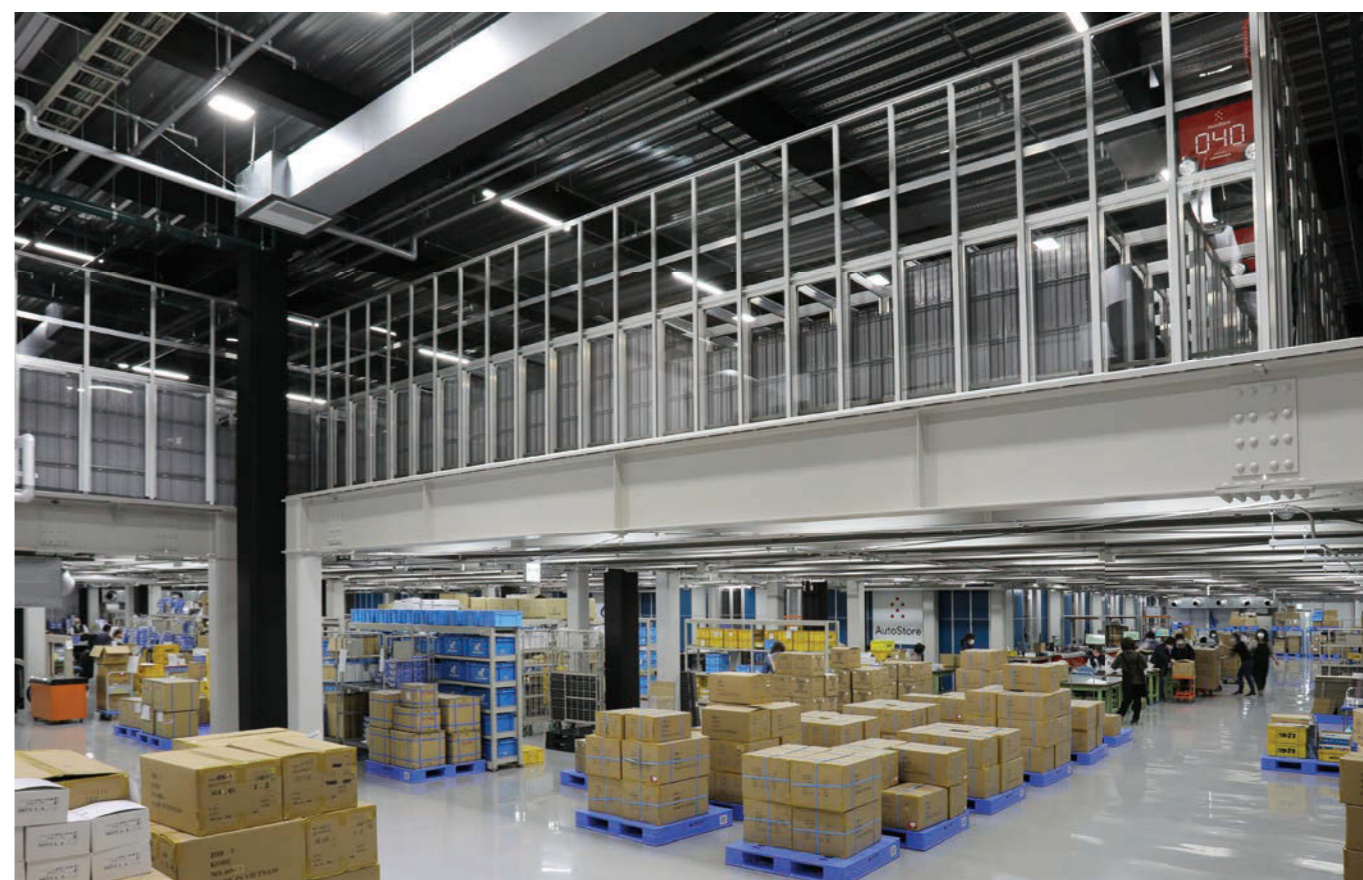
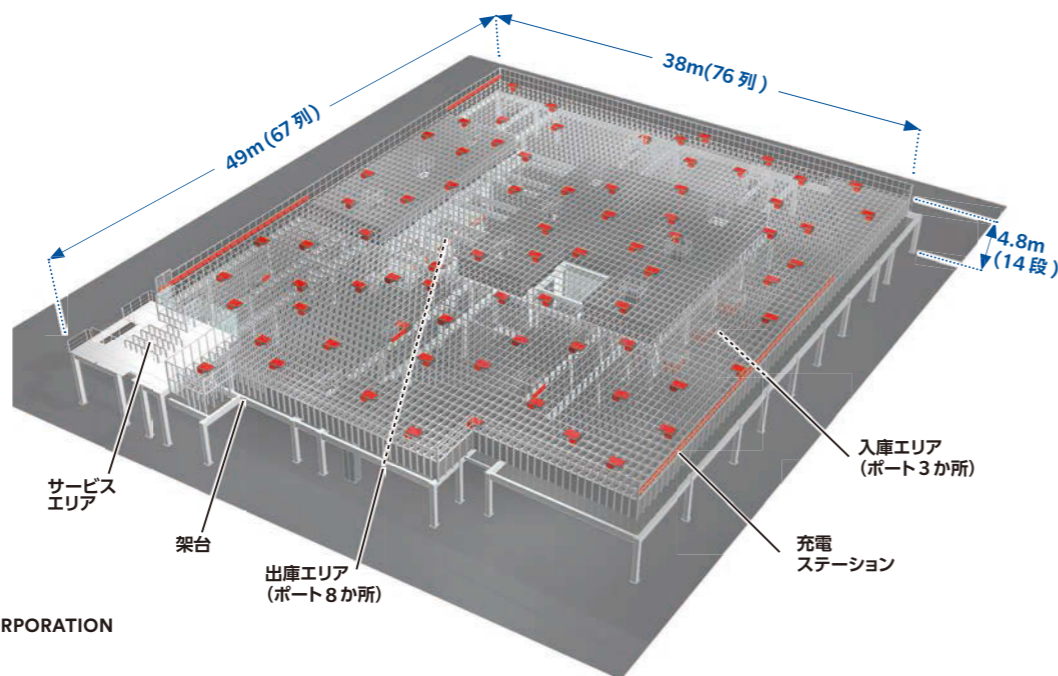
作業効率と保管効率を高レベルで両立した新物流センター

1959年創業の釣具をはじめ、現在ではアパレル、ペット用品の製造・販売を行う株式会社ハヤブサ様。新製品のほか50年以上続くロングセラー商品など、取扱いは約2万アイテムまで増加しています。物流業務は自社で運営しており、業界ではいち早く自動倉庫を導入しましたが、アイテム数増加で従来の自動倉庫の保管能力は限界に達していました。また発注量に対しての出庫スピードも追い付かず、時期によっては24時間対応を迫られるなど、人手確保も問題となっていました。現状の課題に加え、将来的な労働力・スペース不足を解決するため、新物流センター建設プロジェクトを発足。1年以上 検討を重ねて選ばれたのが、オートストアでした。

特筆すべきは架台上にオートストアを設置したスペースの有効活用です。自由度の高いレイアウトを生かし、上部空間を活用した高密度保管と床面の作業スペース確保を同時に実現。またロボット作業エリアの面積を広くし、段積みを低くすることで、ビン(コンテナ)の掘り起こし作業時間が減少。1出庫につき16秒で作業者の手元へ商品が運ばれてきます。オートストアの導入により10年先でも運用可能な物流体制を確立することができました。

所在地	兵庫県三木市吉川町大畑 341-23 番地
延床面積	5,000㎡ (2階建)
竣工	2020年10月

Robot	ロボット台数	76台
Port	カーセルポート	11か所 入庫3ヶ所 出庫8ヶ所 + 将来増設ポート3ヶ所
Bin	ビン数	22,933箱 330ビン/14段積み(架台上は4段)
Performance	入庫能力 (計算値)	180 ビン/時間
	出庫能力 (計算値)	1,712 ビン/時間



架台上に積み上げられたビン(コンテナ)は、上部空間を活用したオートストアならではのレイアウト。段積み4段と低くすることで、ロボットが目的のビンを掘り起こす時間が短縮され、出庫スピードは従来と比較して3倍アップ。



架台上: 広く浅く設計した保管エリアでは、国内最大規模の76台のロボットがポートまでスムーズに走行。



架台下: 入庫ポートに隣接して検品エリアを設置。



出庫ポート横のリフター・コンベヤで梱包エリアへ。作業者は定点で作業可能。